

行政施策

働く場を確保せよ

精度の高い施策で対応



矢野 昭三 議員
のしょうぞう

問 働く場の確保と企業誘致をどの様に具現化するか。

答 大西町長

雇用の場の確保。これが最も重要な課題。今回の新産業創造事業（缶詰工場）だけでも相当の労力を要するので、力量にあった取り組みをする。あまり欲を広げ過ぎると、商品として十分なものができない。更に、既存の産業支援は精度の高い施策を検討したい。

問 黒潮町は誰のものか。町民を真ん中に見据えているか。また、行政は町民に姿形を見せているか。
答 更に町民の先頭に立ち、業務に取り組むよう職員を育成しているか。

答 植田副町長

黒潮町は町民全員のもの。町民福祉のため今後も精一杯頑張る。これからも、満足してもらえらる行政運営に努める。

問 「土佐くろしお鉄道」の駅の手すりや斜路の改善はいつ行うか。

答 植田副町長

9月27日開催予定の会議で関係市町村に必要性を訴える。また、国への補助金要望も行っており、最速で進めば、来年度予算で行われることになるが、駅の利用者数からみて、採択は厳しいと予想される。

問 社会福祉協議会が障がい者の疑似体験をしている。これに町も取り組むか。両足へ棒をくり付け、10mの階段を上がるつもりはないか。

答 植田副町長

新採用職員研修や5、10年目の研修、更に人権研修でも取り組んでいる。今後とも関係機関と共に取り組む。

問 中角の立ち退きで課題があるように、自動車専用道等の事業促進を図るためには、地権者、区長が様々な要望等を行う前に、行政が先に地権者のところへ出向き、要望等を聞くなどして、課題解決に取り組むつもりはないか。

答 植田副町長

住民が主役であることを基に、町民生活の安定と幸せ作りのために、地権者等の悩みを事前に把握し、課題解決に向け努力したい。



「自動車道 東に迎え 彼岸花」
(拳の川の自動車専用道に向かうための工所用道路)